

福岡大学特別講演会2005

「みんなで守ろう地球環境」

地球温暖化防止のための 京都議定書の成立と今後の課題

開催日:2005年7月7日(木)

会場:福岡大学文系センター棟4階 第4会議室

プログラム 15:00-15:15 講演会の趣旨説明 コーディネーター 福岡大学教授 市川 新
15:15-16:30 講 演 慶応義塾大学環境情報学部教授 浜中 祐徳
16:30-17:00 質疑応答

講演会の趣旨と参加の呼びかけ 今、地球環境は危機に瀕しています。我々はそれに対し、行動を起こす時です。その第一歩として、京都議定書の制定、批准、国内での調整を長年にわたり、日本政府の代表者として、その活動をリードしてきた元環境省審議官の浜中祐徳氏をお招きし、今までの経緯とこれからの在り方を学ぶために研究推進部主催の特別講演会を開催することとしました。文系・理系・医学系を問わず、すべての福大生を含む多くの方が、この問題を自分の問題として、考える機会になればと思い、広く参加を呼びかけます。

(コーディネーター:大学院工学研究科・資源循環・環境工学専攻 教授 市川 新 URL:<http://www.cis.fukuoka-u.ac.jp/~ichileau/>)

慶応義塾大学 環境情報学部
教授 浜中 祐徳 氏
元環境省地球環境審議官



講演要旨 京都議定書が発効し、わが国は温室効果ガスを6%削減する義務を履行するため京都議定書目標達成計画を閣議決定した。今後目標達成に向けどのように効果的な取組を進めていくのかが大きな課題である。さらに、地球温暖化問題の解決のために究極的には世界全体の排出量を大幅に削減していく必要があり、このため京都議定書の後に米国や中国、インドなども含め効果的な削減を進めるための世界的な取組体制をどのように構築していくのかも大きな課題である。

講師紹介 東京大学卒業後、1969年厚生省に入省、環境衛生局公害部公害課に勤務、以後一環として、環境庁・環境省に勤務。その間1976年から2年間、外務省に出向、経済協力開発機構(OECD)日本政府代表部(在パリ)勤務、環境問題の国際的な取り組みを始める。1995年環境庁企画調整局地球環境部長に就任し、COP3の日本政府の中心として活躍。以後、環境省地球環境局長、環境省地球環境審議官を歴任、2004年環境省を退職、慶応義塾大学教授に就任、現在に至る。

(URL:<http://vu.sfc.keio.ac.jp/faculty/profile.cgi?0+hamanaka>)

【主催】福岡大学研究推進部

【問合せ先】福岡大学研究推進部研究支援課

〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1

TEL: 092-871-6631

(内線2811~2813)

FAX: 092-866-2308

E-mail: sien@adm.fukuoka-u.ac.jp

申込みは不要ですが、参加希望者は上記宛てにご連絡ください。

【アクセス】

- ・地下鉄七隈線 福大前下車
- ・西鉄バス 福大前下車



【企画】福岡大学 大学院 工学研究科 資源循環・環境工学専攻

大学院資源循環・環境工学は、本学で初めての【横型大学院】といってどの学部・学科からも進学できるユニークな専攻です。廃棄物問題から、地球温暖化対策まで幅広い分野の研究を、理論から、実践まで行っています。新卒者だけではなく、社会人院生が多いのも特徴のひとつです。関心のある方、より詳しい情報を希望される方はホームページ(<http://monge.tec.fukuoka-u.ac.jp/2index.html>)にアクセスしてください。